

交通手段を考える。



「クルマ社会」

○自動車の普及率全国第2位(95・1% H11全国消費実態調査) ○自動車免許保有率全国第2位(64・9% H13とちぎの交通事故) ○1世帯当たり自動車保有台数全国第5位(1・58台 H12道路ポケットブック) ○自家用車利用通勤・通学率全国第10位(67・3% H12国勢調査)

栃木県で生活するための移動手段として、主に自動車が使われています。本町でも例外ではなく、約12,000台が

私たちの生活を支えています。「クルマ」に依存していることは明らかで、自動車を所有していない人や運転ができない人の交通手段の確保の難しさも取り上げられています。

このような「クルマ社会」でたびたび問題になるのは、交通渋滞や道路の整備・維持管理の問題です。増えすぎた自動車への対応が迫られています。

本町の交通事情で全国的にもまれなのが「工業団地渋滞」です。町外から町内への通勤者が多く、時間帯によっては

減った路線バス

本町には鉄道が通っていません。公共の交通機関は路線バスとタクシーだけで、スクールバスや温泉バス、海洋センターの送迎バスなどを一部の利用者のために町が運行しています。

平成16年11月からJRバス関東の路線バス本数が減少しました。

現在、本町を通る路線バスは、JRバス関東と東野交通による広域路線で、宇都宮市や隣接する町への経由地になっっています。

茂木町と宇都宮を結び祖母井を経由する路線に2系統7本、水橋を経由する路線が1系統5本(JR)と益子町と宇都宮市を結び水橋を経由する路線が2系統19本、真岡市と宇都宮市を結び水橋を経由する路線に1系統11本(東野)があります。

自動車を利用できない人や、安心して使える、新しい交通手段が求められています。

現在、その要望を満たす手段はタクシーのみになります。が、利用者の負担が増えます。本町では一部の障害者の方と高齢者のみの方を対象に、タクシーの基料金の補助を行っています。が、対象が限られていますので誰もが利用できる制度ではありません。

利用者が自由に、負担の少ない、安心して使える、新しい交通手段が求められています。

どうなる？

自動車の運転ができない人の交通手段を確保する必要性があります。町内に限らず近隣市町への通院や買い物など、ある程度の範囲を自由に移動できる新しい交通手段の導入が求められています。

現在、その要望を満たす手段はタクシーのみになります。が、利用者の負担が増えます。本町では一部の障害者の方と高齢者のみの方を対象に、タクシーの基料金の補助を行っています。が、対象が限られていますので誰もが利用できる制度ではありません。

利用者が自由に、負担の少ない、安心して使える、新しい交通手段が求められています。



アンケート結果から

昨年10月に町内の60歳以上の方から無作為抽出した約千人の方を対象に、日常の交通手段についてのアンケートを実施しました。その結果をもとに、交通手段について考えたいと思います。

60歳以上で自動車を運転する人は、4割を超えています。これは、回答をいただいた年齢層(70歳以上が65・9%)を考えれば高いと言えるでしょう。

路線バスの利用については、7割以上が「利用しない」と回答しています。バスの運行路線に近い一部の限られた人しか利用しない交通手段になっているようです。また、

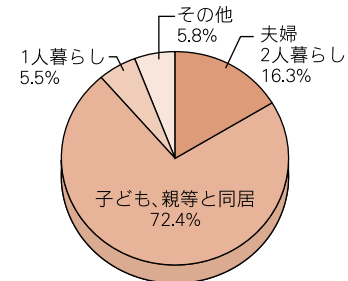
自動車を利用できない人の多さを考えれば理解できます。家族構成では、「子ども、親等と同居している」が7割を超えていることから、自分あるいは家族の運転する自動車での移動が多いようです。

買い物については約4割が自分で自動車を運転して行き、約3割が家族の運転する自動車で行かれています。路線バスやタクシーによる移動は少ないようです。

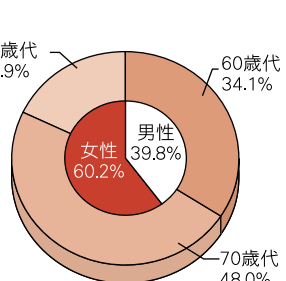
通院に関して4割弱が自動車を利用しているが、3割強が家族の運転する自動車を利用している。買い物を自分で運ぶ人が多いため、購入物の運搬が負担になる。購入物の運搬が負担になる。購入物の運搬が負担になる。

現在、町が検討している「乗り合いタクシー」が導入された場合の利用意向を尋ねたところ、「利用する」が約2割、「今は利用しないが将来は利用する」が5割強を占め、潜在的な利用意向が高いことが分かりました。これは、今は自分あるいは家族の運転する自動車を利用できるが将来に不安があるため、その時には利用したいとの意味と考えられます。新しい交通システムへの期待も大きいと言えるでしょう。

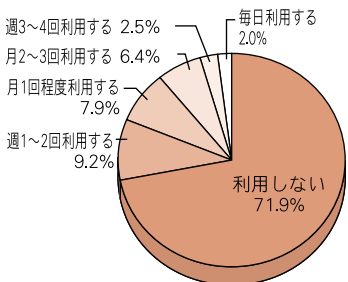
回答者の家族構成



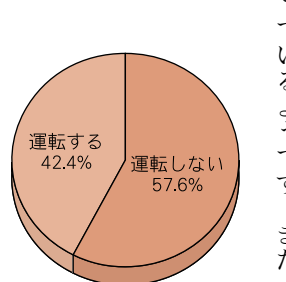
回答者の年齢、性別



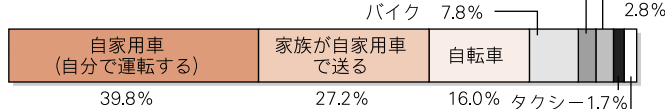
路線バスの利用



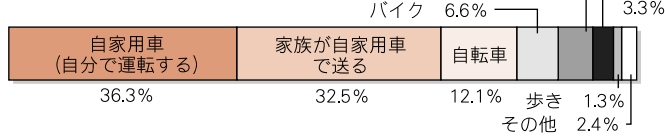
自転車の運転



普段の買物交通手段

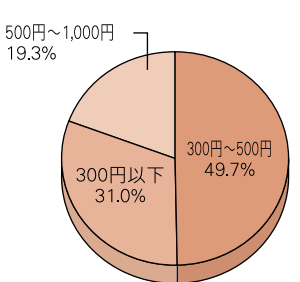


通院先交通手段

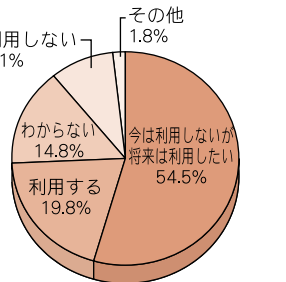


利用料金については、300円以下が半数を占めました。300円以下の低料金志向より回答が多いことから、ある程度の料金を負担しても利便性のある交通手段を求めていることが分かりました。

1回の利用料金



乗合タクシー利用について



乗合いタクシー利用目的(複数回答)

